

# 治験センター NEWS

第14号 2010年7月1日 発行

今回は、当院で治験に関する研修を受けられた「国家公務員共済組合連合会 新小倉病院」の皆さまから感想を寄せていただきましたのでご紹介します。  
関連病院ということもあり、研修当日は治験センタースタッフからの説明だけでなく、事務部（医事課・会計課）や医療情報管理部の皆さまにもご協力いただき、実務内容を具体的にお話いただきました。

《以下、新小倉病院の方からの感想です。》

平成21年12月、師走のお忙しい時期に、研修・見学を受け入れて頂き、ありがとうございました。

新小倉病院では、肝炎関連の治験として現在12本の治験が実施中ですが、昨年からは本格的に治験事務局を始動させたばかりで、院内における細かな業務手順やルール作り等が十分ではありませんでした。院内の流れにのせる治験の業務手順をどのような方向性や方法で考え実施すべきか分からずにいました。

そこで、虎の門病院にて研修させて頂き、規模の違いに大変驚きましたが、実際に治験センターの方々に分かりやすくご教授頂いたり、質問に丁寧にお答え頂き、不安点や疑問点が解消して、胸のつかえがおりる思いがしました。また、各部署の方々にも実際の業務の方法や考え方等をお話頂き、治験業務を他業務と隔たりなく熱心に責任を持って取り組まれている、病院全体が治験遂行に理解があることに感動しました。

ご教授頂いた内容は、院内へと持ち帰り、教えて頂いた方法と当院の流れを照らし合わせ、重篤有害事象発生時の院内対応方法の確立、カルテや必須文書の保管期限までの保管方法の統一など、一歩ずつですが取り組んでおります。今後も治験推進協力病院の役割を果たせるよう、さらに院内整備を行い、治験業務を充実させたいと考えております。

何かとお尋ねさせて頂くことも多いかと思いますが、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

新小倉病院 診療部長 野村秀幸 会計課長 新宮眞由美

治験事務局 西ゆかり（治験コーディネーター）

これからも、虎の門病院では国家公務員共済組合連合会の中心となって、他病院と連携をとり、治験の推進に向けて動いてまいります。

最後に、研修を受け入れるにあたりご協力いただきました方々、ありがとうございました。

問い合わせ：本院治験事務局 3430 CRC室 3420 分院治験事務局・CRC室 5317

